

取扱説明書 改訂版②

エンジン手押し式除雪機

HG-K755

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、内容を理解してからお使いください。

燃料 無鉛レギュラーガソリン



エンジンオイルは
入っていません。



除雪作業中に問題があった場合でもその場で解決策の動画をご覧いただけるよう本体にQRコードを貼っています。詳細は、P.6をご覧ください。



目次

はじめに	3	除雪作業の仕方	23
安全上のご注意	3	除雪作業の停止	24
製品を長くご愛顧いただくために	3	シュータに雪が詰まった場合	24
安全にお使いいただくために	4	移動の仕方	24
除雪機に係る安全事項	4	点検・整備の仕方	25
除雪機の作業に係る安全事項	5	エンジンオイルの点検・交換	25
安全ラベル	6	燃料の抜取り	26
各部の名称	7	点火プラグの点検・整備	27
主要諸元	8	オーガベルトの交換	28
梱包部品一覧	9	除雪クラッチワイヤの交換	28
組立て	10	除雪クラッチワイヤの調整	30
ハンドルの取付け	10	バッフル、ラバースカートの点検・交換	31
除雪クラッチワイヤの取付け	11	ラバーオーガの点検・交換	32
シュータの取付け	12	タイヤの点検	32
ロッカーアームの取付け	13	各部の緩みやガタツキの点検	32
リコイルスターターガイドの取付け	14	各部の異音の点検	32
各部の取扱い	16	排気状態の点検	32
リコイルスターター	16	グリス・潤滑油の塗布	33
シュータデフレクタハンドル	16	長期間使用しない時	34
ロッカーアーム	16	故障かな?と思ったら	35
除雪クラッチレバー	17	消耗品一覧	36
スイッチ類	17	FAX 見積り・注文用紙	37
運転前の点検	18	保証内容について	38
エンジンオイルの給油	18	お客様ご相談窓口	39
燃料の給油	18		
ラバーオーガの点検	19		
除雪クラッチレバーの点検	19		
シュータの点検	20		
各部の緩みやガタツキの点検	20		
各部の異音の点検	20		
排気状態の点検	20		
グリス・潤滑油の塗布	20		
運転操作の仕方	21		
エンジンのかけ方	21		
エンジンの止め方	22		

はじめに

このたびはエンジン除雪機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

除雪機に係る安全事項



警告



禁止

- ・本機は、除雪をする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。
- ・燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。
- ・エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- ・運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- ・運転中は絶対シュータやオーガハウジングを覗き込まないでください。
- ・点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- ・デッドマンクラッチを紐などで固定しないでください。





指示

- ・周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- ・給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- ・燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- ・燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
- ・可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・クラッチレバーを握っていない時は、オーガが回転していないことを確認してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- ・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・回転しているオーガに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。
- ・点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- ・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
- ・自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 古い燃料は使用しないでください。 安全保護装置であるガード及びカバーを取外して運転をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> 燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。 定期的にエンジンオイルを交換してください。 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。 シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。 部品交換は、純正部品を使用してください。 定期点検整備を行ってください。

除雪機の作業に係る安全事項

⚠ 警告


 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。 ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。 運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。 人にシュータやシュータデフレクタを向けないでください。また、除雪機の前方に人を入れないでください。 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。 雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。 オーガーやシュータや顔や手足、衣服などを近づけないでください。 傾斜面を横切って除雪しないでください。 坂道での除雪や停車はしないでください。 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。 可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。 エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。 走るような操作はしないでください。 滑りやすい表面上では、高速で除雪機を運転しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> 雪が降る前に運転区域内の木片、缶、ホース、線材、ナワ及びその他の異物等をすべて除去してください。 ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。 運転中は、排気ガスに十分注意してください。 建物、自動車及び破損の恐れがある建造物の周囲で除雪をする時は、それらの方向に排出された雪が当たらないようシュータの方向、シュータデフレクタの角度を調整して運転をしてください。 停止中でも、オーガに触れないでください。怪我をする恐れがあります。 適切な時期に休憩をとってください。 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。 移動する時は、オーガの回転を止めてください。 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。 除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。 オーガーハウジングやシュータなどに詰まった雪を取除く時は、エンジンを停止し、誤ってエンジンがかからないようにしたうえで、回転が完全に止まった後に、雪かき棒を使って取除いてください。 滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。 坂道の走行には注意してください。 後方へ走行する時は、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。 除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。 除雪機を輸送したり、使用しない時、停止する時は、オーガハウジングを接地させてください。

安全ラベル

警告



運転中はシュータに絶対に手を入れないでください。停止中でも、手で詰まりを取除かないでください。




このQRコードを読み取ることで、「組立て」「運転操作の仕方」「点検・整備の仕方」等を動画でご覧いただくことができます。また、「整備手順」や「取扱いの注意」等最新情報を随時追加・更新していきます。ぜひご利用ください。

※本取扱説明書と動画では、手順が異なる場合があります。ご了承ください。

注意

- ・投雪方向の安全を確認してから、除雪作業を行ってください。
- ・オーガなど凍結した状態で無理に可動させないでください。故障の原因になります。



困った時は動画をチェック



警告

- ・ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物です。
- ・給油の前には、エンジンを切って冷やしてください。
- ・エンジンは有毒な一酸化炭素を排出します。
- ・密閉された場所では使用しないでください。
- ・取扱説明書は必ずお読みください。

警告

- ・燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

注意

- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- ・燃料タンク内に雪や水が入らないようご注意ください。
- ・30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のいないところに保管してください。

注意

マフラー 高温注意



マフラーに触るとやけどをする恐れがあります。

注意

プラグ 高圧注意



感電の恐れあり。運転中は、点火プラグや高圧コードに触れないでください。



- ・ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- ・シュータ内には手を入れないでください。
- ・足の巻き込みにご注意ください。
- ・シュータは人に向けしないでください。
- ・危険を感じたらすぐエンジンを切ってください。

除雪クラッチ



警告



除雪クラッチ 固定厳禁

警告

排ガスに注意



室内や換気の悪い場所での運転は、ガス中毒の危険があります。

危険

火気厳禁



- ・給油時はエンジン停止。
- ・火災の危険あり。
- ・給油口に火を近づけないこと。

各部の名称

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。



主要諸元

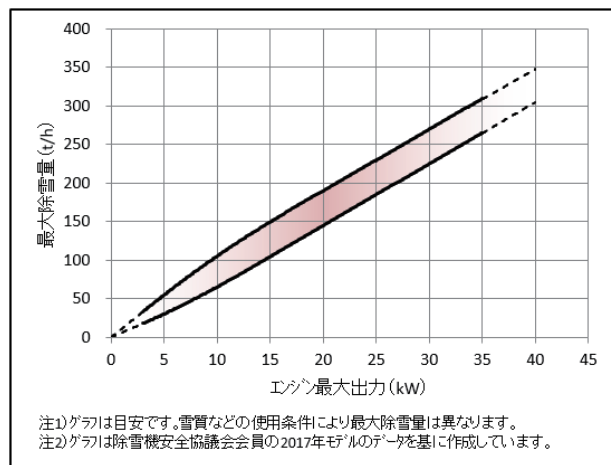
モデル名	HG-K755
除雪幅	550mm
除雪高	270mm
ブロワ周速	20m/s
投雪方向	180°
走行	手押し
エンジン型式	Loncin G210F(D)S
出力	4.8kW
総排気量	212cm ³ (cc)
始動方法	リコイルスターター
シュータ操作	ロッカーアーム
操作ハンドル	両手除雪
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃費 (1L 当たり)	約 60 分 ※エンジン単体無負荷状態
燃料タンク容量	1.3L
エンジンオイル	SAE 5W-30
エンジンオイル容量	0.4L
駆動タイヤ	ノーパンクタイヤ
重量	43kg
サイズ	L1100 × W560 × H1070mm (ハンドルまでの高さ)

◎ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

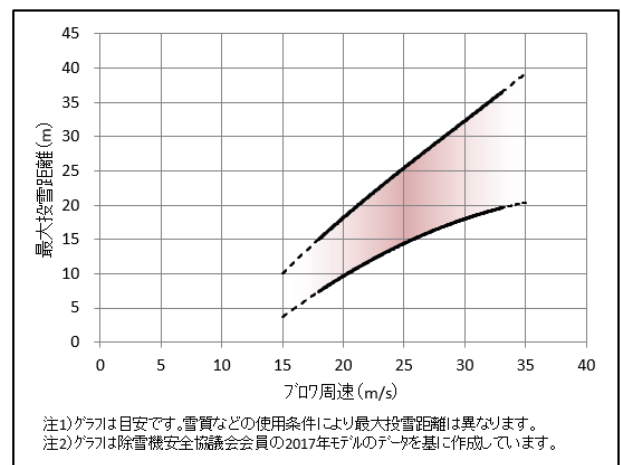
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

【最大除雪能力】



【最大投雪距離】



梱包部品一覧

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

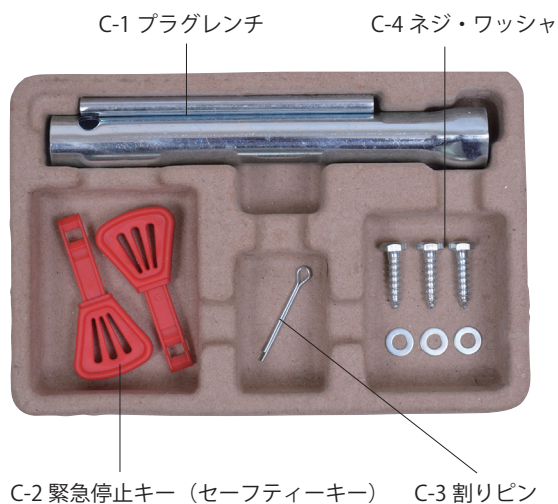
A. 本体



B. シュータ



C. ネジ類



D. 上ハンドル



E. ロッカーアーム



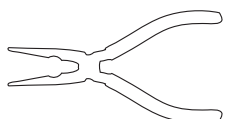
※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

■ご用意いただく工具（組立時に必要な工具）

- 10mm のスパナ又はレンチ・・・2本



- ラジオペンチ



組立て

警告

- 緊急停止キーを抜いてから、作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付いていることを確認してください。

注意

作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

★市販の10mmスパナ又はレンチ2本とラジオペンチをご用意ください。

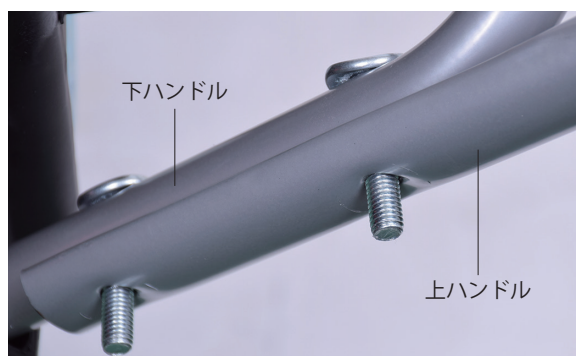
ハンドルの取付け

- 1 下ハンドルに仮留めしているノブ、ワッシャ、ボルトを一旦取外し、ハンドル保護フィルムを取除きます。



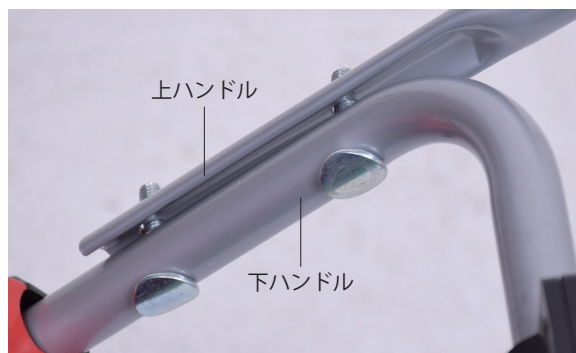
下ハンドル

- 2 下ハンドルに上ハンドルを外側からかぶせ、取付穴を合わせ内側からボルトを挿込みます。



下ハンドル

上ハンドル



上ハンドル

下ハンドル



上ハンドル

組立て

- 3** 外側からワッシャをはめます。ワッシャには表裏があります。ハンドルのパイプのカーブに合わせた向きではめてください。



- 4** 左右4ヵ所のノブナットを取付け固定します。

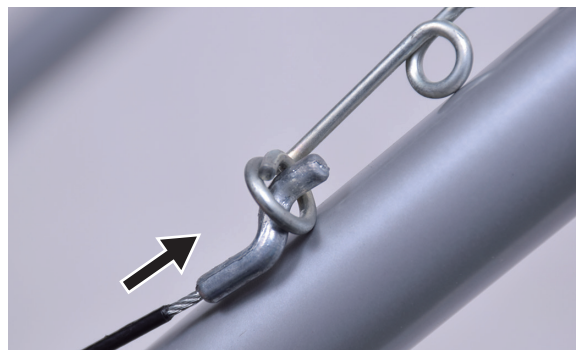
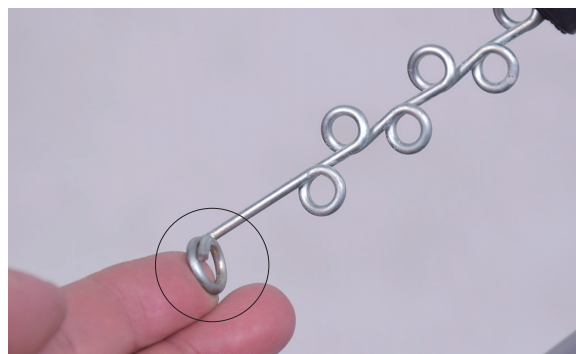


- 5** ノブを締付ける際は、ハンドルのパイプのカーブに、ボルトヘッドとワッシャのカーブが合う位置で固定します。

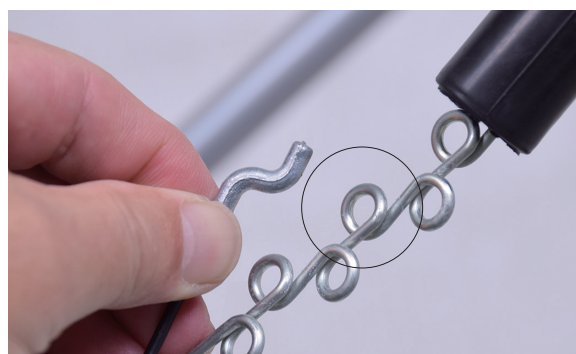


除雪クラッチワイヤの取付け

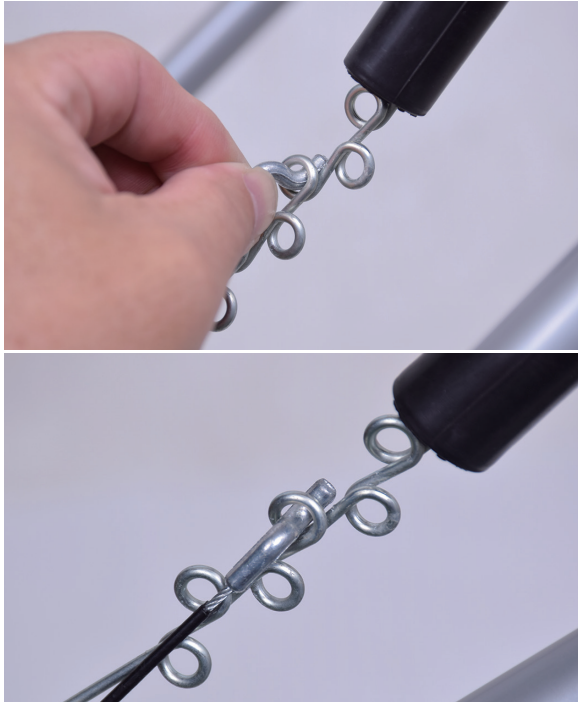
- 1** 除雪クラッチレバーより出ている取付リングの一番下の穴に、本体から出ているワイヤを引上げながら、先端のフックを通します。



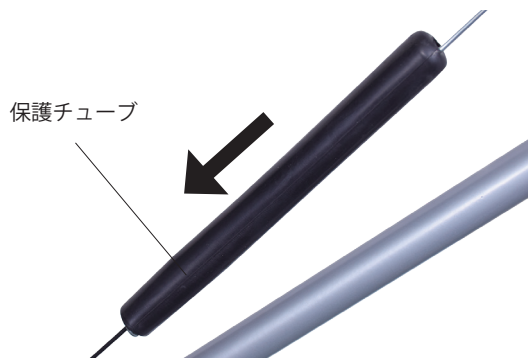
- 2** ワイヤ先端のフックを下から4つ目、上から3つ目の穴に通します。



組立て



3 保護チューブを下げリング部分を保護します。



シュータの取付け

1 本体のシュータ取付部の3カ所の穴と、シュータの穴の位置を合わせます。



2 ネジにワッシャを通し、10mmのスパナ又はレンチで締付けます。

⚠ 注意

強く締め過ぎますと破損しますのでご注意ください。



組立て

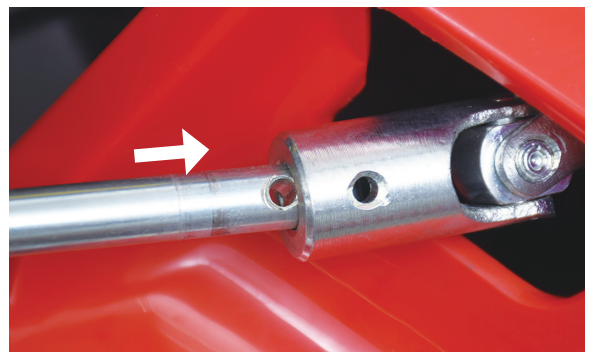
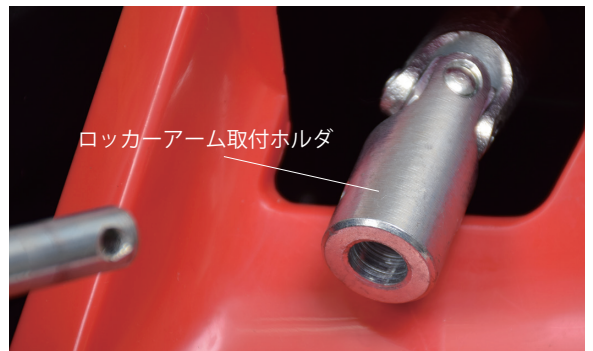


ロッカーアームの取付け

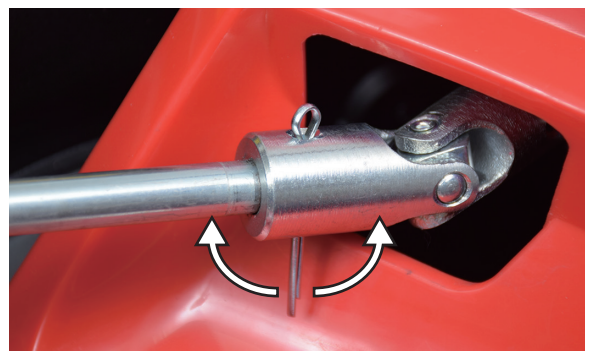
- 1** 下ハンドルに取付いているロッカーアームガイドに、ロッカーアームを挿入します。



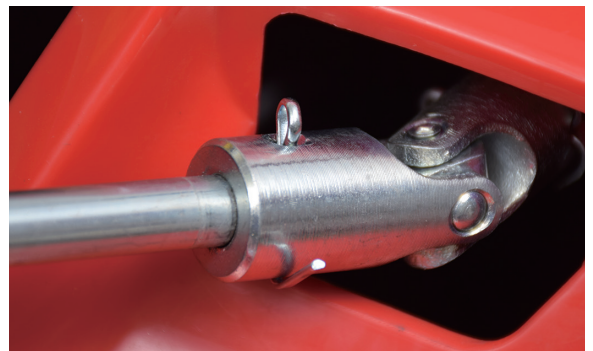
- 2** 本体から出ているロッカーアーム取付ホルダにロッカーアーム先端を挿入します。



- 3** 穴の位置を合わせて、割りピンを挿入します。

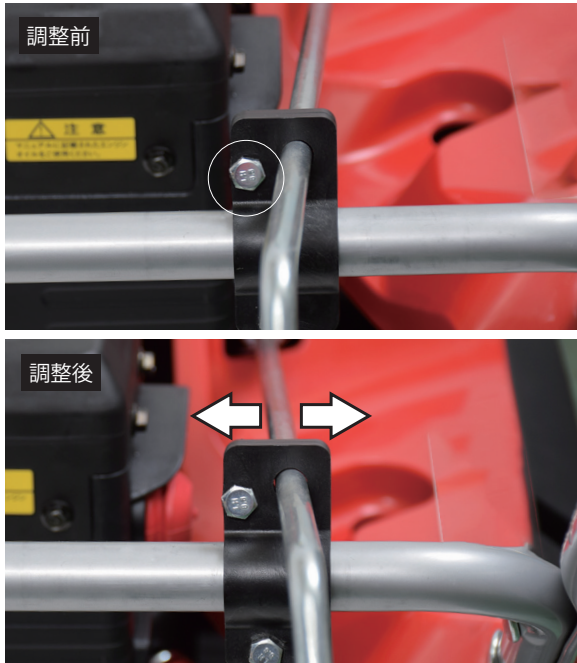


- 4** 割りピンが抜けないように、先端をラジオペンチで曲げます。



組立て

- 5** ロッカーアームが操作しやすい位置にロッカーアームガイドの位置、傾向きを調整します。調整は、上下のボルト・ナットを10mmのスパナ又はレンチでボルトを固定しながら、もう1本のスパナ又はレンチでナットを緩めます。



- 6** 位置が決まったらボルト・ナットを締付けます。
7 ロッカーアームを回し、シュータが回るか確認します。



⚠ 注意

シュータデフレクタハンドルを持って、シュータを回さないでください。破損します。

リコイルスターターガイドの取付け

- 1** 本体右下にあるリコイルスターターを、ゆっくり引き出します。



- 2** リコイルスターターガイドのナット、ワッシャを一旦取外し、ハンドルの取付穴に外側から挿入します。



- 3** ワッシャ、ナットを取付け10mmのスパナ又はレンチで締付けます。



組立て

4 組立完成です。



各部の取扱い

リコイルスターター

リコイルスターターでエンジンを始動します。



- 1 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真つすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。

⚠注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

シュータデフレクタハンドル

投雪角度を調整します。

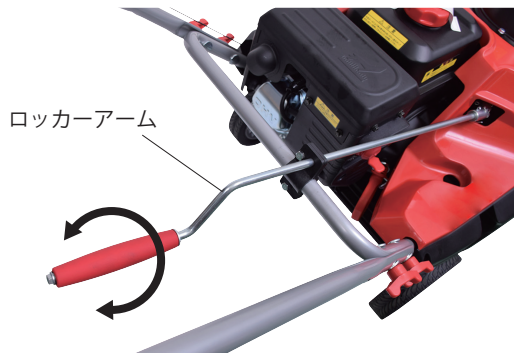
- 1 ノブナットを緩めシュータデフレクタハンドルを持ち、角度を調整します。調整し終わったらノブナットを締めます。



ロッカーアーム

投雪方向を調整します。

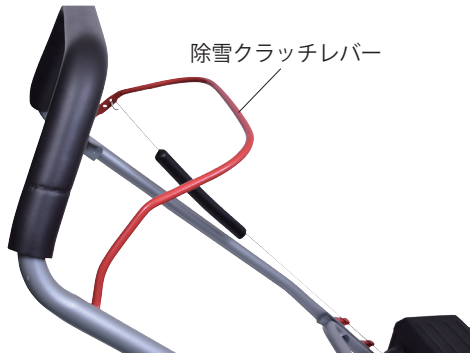
- 1 ロッカーアームを回すことで、投雪方向を180°の範囲で調整することができます。



各部の取扱い

除雪クラッチレバー

オーガを回転させる時に握ります。

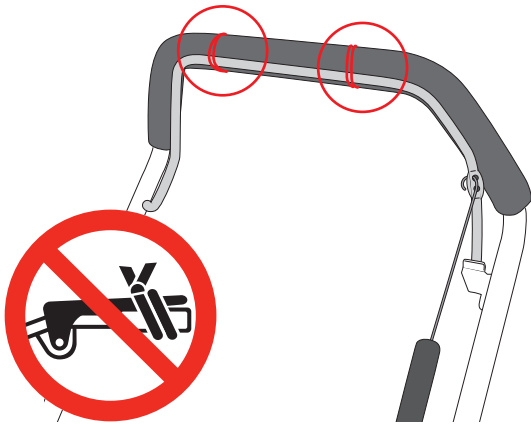


レバーを握る オーガが回転します。

レバーを放す オーガが停止します。

警告

除雪クラッチレバー（デッドマンクラッチ機構）を紐やクランプ等で固定することは絶対にお止めください。重大な事故に繋がります。

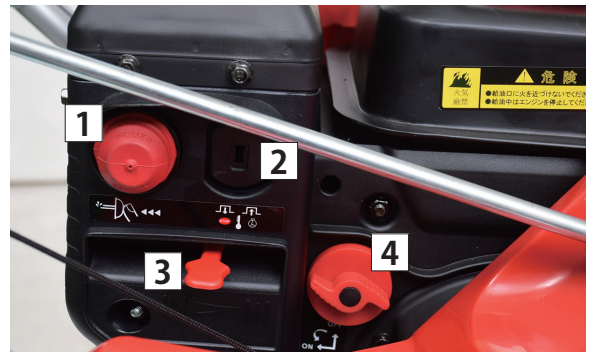


注意

レバーを握る際は、両手で行ってください。

スイッチ類

スイッチ類は、本体右側にまとめられています。



1 燃料ポンプ

燃料ポンプを2～3回軽く抵抗を感じる程度まで押すことで、燃料をキャブレターに行きわたらせます。（初回のみ）

注意

押しすぎるとエンジンが始動しません。


2 緊急停止キー（セーフティーキー）挿入口

緊急時には「緊急停止キー（セーフティーキー）」を抜くことでエンジンを停止させることができます。

「緊急停止キー（セーフティーキー）」を運転者のベルトなどに紐で繋いでおくと、万が一の転倒などの際にキーが抜け、エンジンを停止させます。（P.21 参照）



3 チョークハンドル

エンジン始動時は、チョークマークに合わせます。

4 燃料コック

コックを横にするとエンジンに燃料が供給されます。

運転前の点検

警告



禁止

- ・ エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・ 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・ 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ ハイオクガソリンは使用しないでください。



指示

- ・ 燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・ 燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・ 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・ 燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・ 燃料キャップは確実に締めてください。
- ・ 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のない所に保管してください。
- ・ 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。
下記要領で給油してください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.4L

- 2 本体を水平な場所に移動させます。
- 3 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。
- 4 エンジンオイルを給油します。

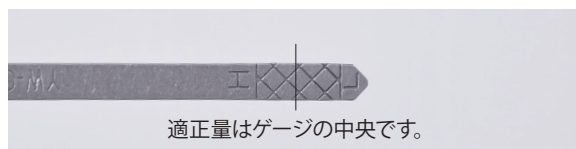
注意

エンジンテストを行っているため、多少オイルが残っている場合があります。オイルゲージを確認しながら少しずつ給油してください。

- 5 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度取外します。



- 6 オイルがオイルゲージのオイル量範囲 (中央) まであるか点検します。



- 7 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。
- 8 使用 2 回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

燃料の給油

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク	1.3L

- 2 燃料給油キャップを開け、満タンレベルゲージを超えないように給油します。



運転前の点検

ラバーオーガの点検

ラバーオーガやバッフル、ラバースカートに凍結や曲がり・変形・欠け・摩耗がないかを点検します。



除雪クラッチレバーの点検

エンジン始動後、除雪クラッチレバーを操作し、「回転」「停止」するか点検します。



レバーを握る

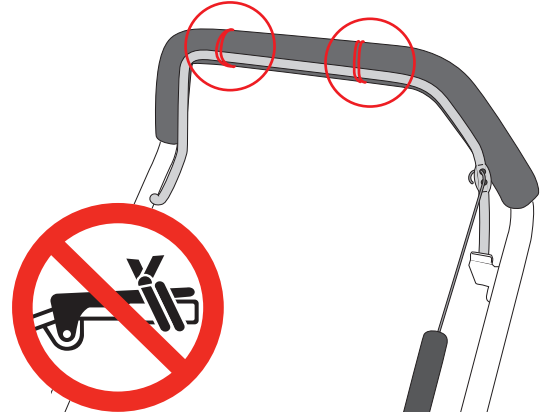
オーガが回転します。
※レバーを握っても回転しない場合は、ワイヤの調整が必要です。

レバーを放す

オーガが停止します。
※レバーを放しても停止しない場合は、ワイヤの調整が必要です。

警告

除雪クラッチレバー（デッドマンクラッチ機構）を紐やクランプ等で固定することは、絶対に行わないでください。重大な事故に繋がります。



注意

レバーを握る際は、両手で行ってください。

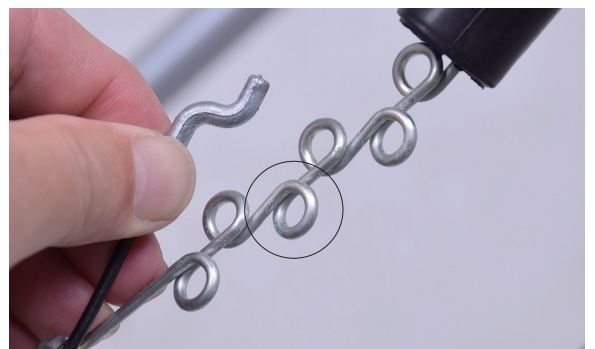
●レバーを握っても回転しない

ワイヤフックをリングから一旦取り外し、1つ上のリングに通します。



●レバーを放しても停止しない

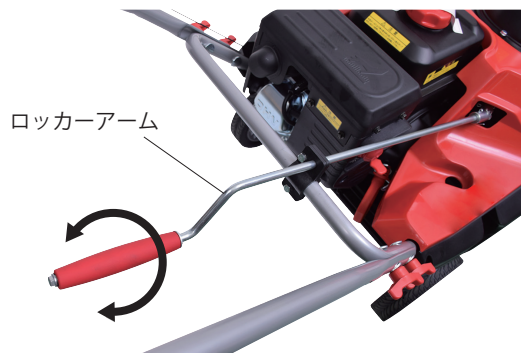
ワイヤフックをリングから一旦取り外し、1つ下のリングに通します。



運転前の点検

シュータの点検

- 1 ロッカーアームを回し、シュータに不具合がないか点検します。



- 2 ノブナットを緩めシュータデフレクタハンドルを持って動かし、シュータデフレクタに不具合がないか点検します。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。ボルト、ナット等の緩みであれば締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

不具合があったまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

各部の異音の点検

エンジン始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

異常を感じたまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



警告

異常を感じたまま使用しないでください。
重大な事故に繋がります。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・摺動部を清掃し、グリス潤滑油を塗布します。(P.33 参照)

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

運転操作の仕方

警告

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

エンジンのかけ方

- 1 緊急停止キー（セーフティーキー）を奥まで挿入みます。



注意

緊急停止キー（セーフティーキー）は、奥まで確実に挿入してください。確実に挿入されていないとエンジンは始動しません。

ワンポイント

緊急停止キー（セーフティーキー）の穴に紐を取付け、除雪作業の邪魔にならない長さでベルト等に結び付けます。万が一の転倒などの際に、緊急停止キー（セーフティーキー）が抜け、エンジンを停止させます。



- 2 外気温が氷点下の場合、燃料ポンプを2～3回軽く抵抗を感じる程度まで押します。

注意

押しすぎるとエンジンが始動しません。



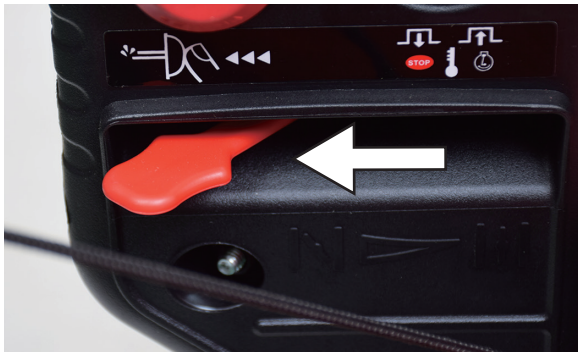
- 3 燃料コックを「ON」にします。

※写真は「ON」の状態

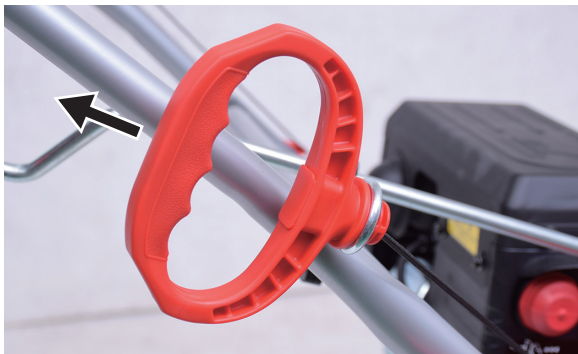


運転操作の仕方

- 4** チョークレバーをチョークマーク↓にします。



- 5** リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真つすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。



⚠ 注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さず、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。また、除雪クラッチレバーを握りながら引張らないでください。

- 6** エンジンがかかったら、チョークレバーをチョークマーク↑に戻します。



- 7** リコイルスターターを引いた時に、そのままエンジンがかかった時も、チョークレバーをチョークマーク↑に戻します。

⚠ 注意

エンジン始動後は、チョークレバーを必ずチョークマーク↑に戻してください。

エンジンの止め方

- 1** 除雪クラッチレバーから手を放します。



- 2** 緊急停止キー（セーフティーキー）を少し引くか、引抜きます。



運転操作の仕方

警告

- ・シュータを人や自動車、建物に向けないでください。
- ・ラバーオーガに異物が巻付いた時は、エンジンをすぐに停止し、異物を取除いてください。
- ・除雪機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してからご使用ください。

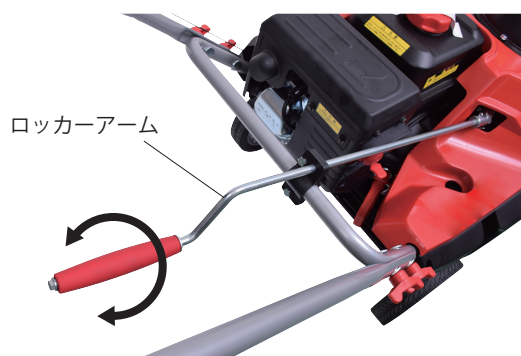
適した雪質

本機のラバーオーガはゴム製のため、固まった雪や重たい雪の除雪には不向きです。また、湿った雪の場合は、シュータに雪が詰まりやすくなります。

新雪	締まった雪	固まった雪	溶けかけの雪
◎	○	△	○

除雪作業の仕方

- 1** ロッカーアームを回し、投雪方向を調整します。



注意

シュータデフレクタハンドルでシュータを回転させないでください。破損します。

- 2** ノブナットを緩めシュータデフレクタハンドルを

持って動かし、投雪距離を調整します。

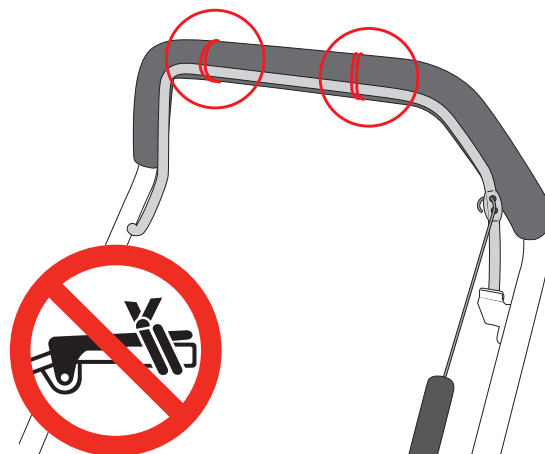


- 3** 除雪クラッチレバーをゆっくり握るとラバーオーガが回転します。



警告

除雪クラッチレバー（デッドマンクラッチ機構）を紐やクランプ等で固定することは絶対にお止めください。重大な事故に繋がります。



運転操作の仕方

ワンポイント

除雪作業は、普通に歩く速度より「ゆっくり」行るのがコツです。

走行速度が速すぎると、雪がいっぱいになり、投雪が間に合わず雪が詰まってしまいます。

①詰まりそうになったら一旦後進し、また前進させます。これを繰り返すことで、雪を詰まらせずに除雪することができます。

②本機は水平に置いた時にラバーオーガが接地する構造になっています。そのため、ラバーオーガの回転が除雪移動の補助となることも可能です。コツとしては、1～2cm程度前に傾け、路面にラバーオーガを押し当てながら除雪作業をします。



③雪幅を狭くすると、除雪しやすくなります。



除雪作業の停止

- 1 P.22 の要領で停止をします。
- 2 作業終了後は、本体に付着した雪を取除き拭取ってください。

⚠ 注意

- 雪や水分が付着したままにすると、凍結やサビを起し、故障の原因になります。
- 除雪作業終了後は、雨ざらしにしないでください。
- 屋外に保管しないでください。凍結、劣化により故障や本機の寿命を短くする恐れがあります。

シュータに雪が詰まった場合

⚠ 警告

- シュータに詰まった雪を除去する時は、エンジンを停止し、ラバーオーガの回転が止まってから雪かき棒で雪を取除いてください。
- エンジンが回っている時は、シュータに手を絶対に入れないでください。怪我をする恐れがあります。



- 1 エンジンを停止させ、ラバーオーガの回転が完全に停止したことを確認します。
- 2 シュータ内に詰まった雪を雪かき棒で取除きます。
※詰まったまま使用すると、ベルトが伸びたり切れたりする可能性があります。

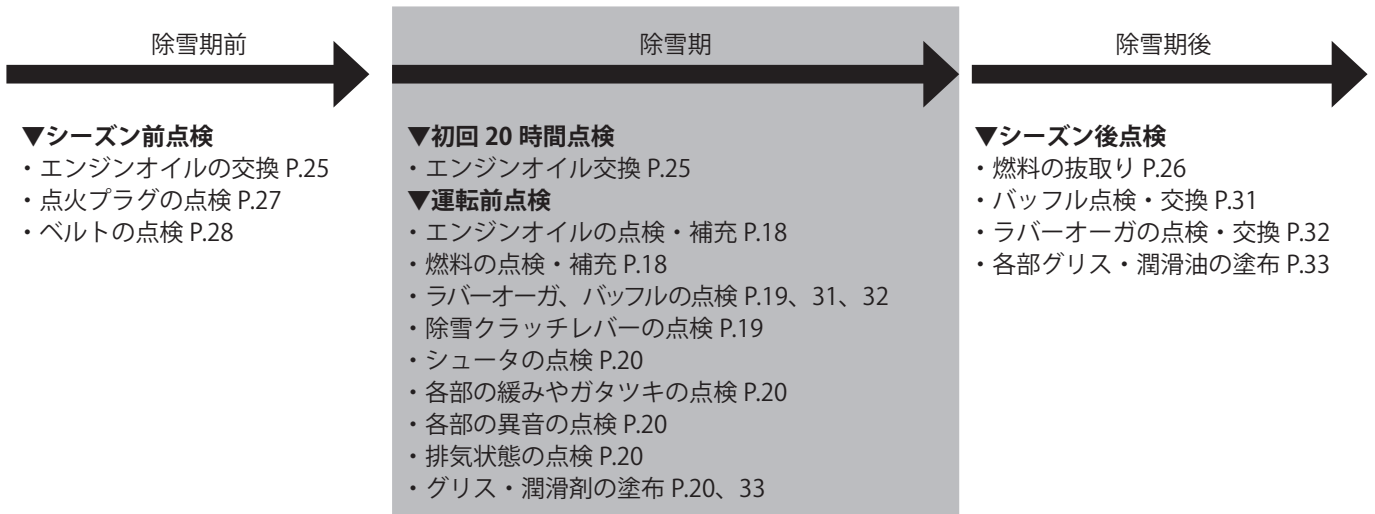
移動の仕方

- 1 除雪クラッチレバーから手を放します。
- 2 ハンドルを押し下げ、本体前側を浮かせた状態にします。
- 3 そのまま手押します。



点検・整備の仕方

いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。



点検時期の目安

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヵ月後又は20時間運転後	3ヵ月毎又は50時間運転毎	6ヵ月毎又は100時間運転毎	1年毎又は300時間運転毎
燃料	ガソリン量、漏れ	●				
エンジンオイル	オイル量	●				
	交換		●	●		
点火プラグ	清掃				●	
	交換					●

警告

- 安全を確保し作業を行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

エンジンオイルの点検・交換

【エンジンオイルの交換】

初回 20 時間、以降 50 時間毎にエンジンが冷えた状態で行ってください。

■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受けを準備し、車体を水平な場所に移動させます。廃油受を本体下に置きます。

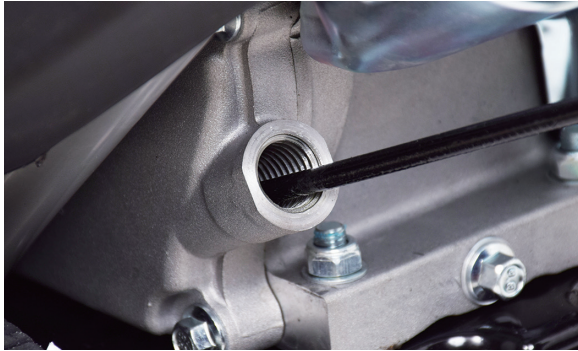
- 2 オイル給油キャップを緩めます。
- 3 オイル給油キャップの右下のドレンボルトを、10mm のラチェットレンチ等で反時計回りに回し緩めるとオイルが出てきます。



点検・整備の仕方

4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。

5 市販のオイルチェンジャーで抜くこともできます。
※操作方法は、オイルチェンジャーの取扱説明書に従ってください。



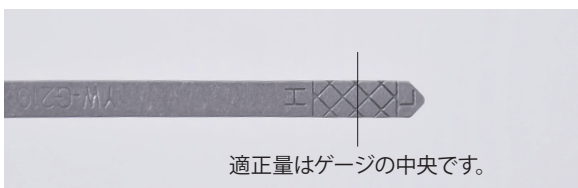
6 市販のオイルジョッキを用意します。



7 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央までゆっくり少しずつ入れます。



8 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



推奨オイル	SAE 5W-30
オイル容量	0.4L

9 給油後は、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

燃料の抜取り

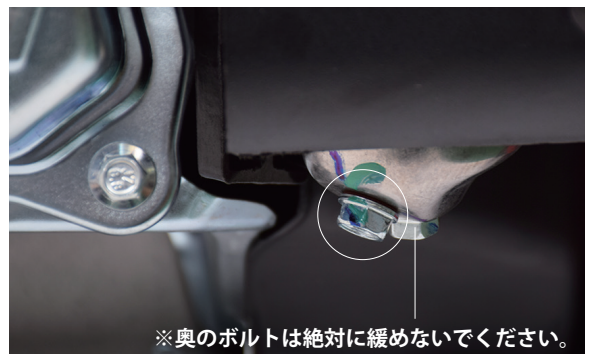
1 燃料コックを「OFF」にします。

2 燃料タンクのキャップとストレーナ(こし網)を取外し、燃料を手動のポンプ等で抜きます。



3 燃料を受ける容器を用意します。

4 O部分のボルトを緩めることで、キャブレターの燃料を抜くことができます。
10mmのスパナ又はレンチで緩めます。



5 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

6 手順3～5を行わずに、エンジンをかけ、ガス欠にする方法もあります。その際は、燃料キャップを閉めてください。

点検・整備の仕方

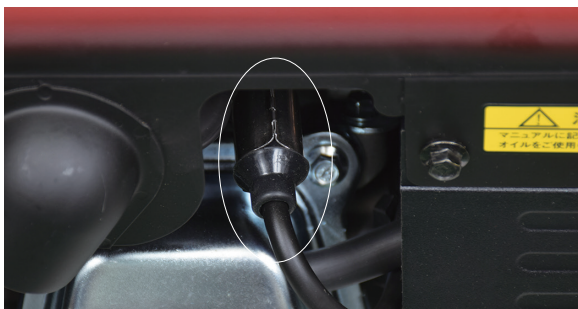
点火プラグの点検・整備

点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

■使用工具：プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

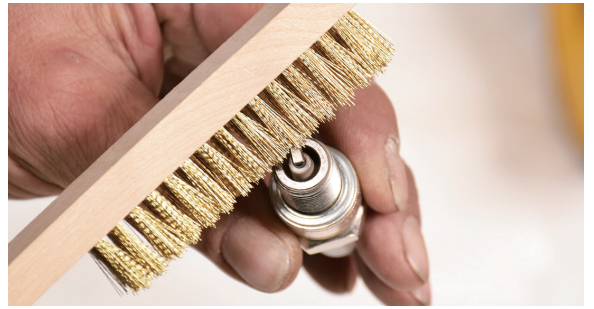
- 1 緊急停止キー（セーフティーキー）を抜きます。
- 2 金属の点火プラグキャップを持って引抜きます。
※コードを持って引抜かないでください。



- 3 点火プラグをプラグレンチで取外します。（反時計回り）



- 4 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



交換時期	250 時間運転毎
適応 点火プラグ	BPR7ES(NGK) 標準
	BPR5ES(NGK) 寒冷地向け
	BPR6ES(NGK) 寒冷地向け

- 5 プラグキャップに点火プラグを取付けます。



- 6 緊急停止キー（セーフティーキー）を挿込み、点火プラグ先端を金属部分に接触させ、リコイルスターターを引張ります。この時先端から火花が出れば正常です。



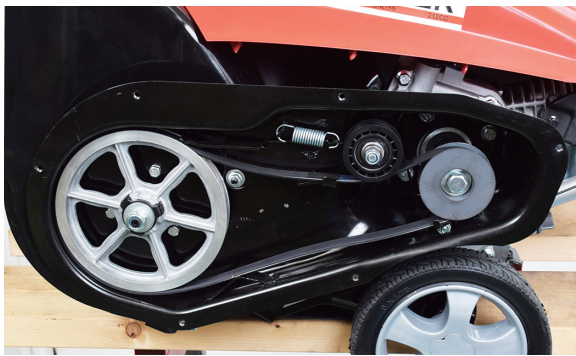
- 7 取外しと逆の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

オーガベルトの交換

1 7カ所のネジを取外し、ベルトカバーを取外します。

①のネジのみ短くなっています。



2 プーリー（大）を回しながら、ベルト下側を外側に引張ると外れていきます。



3 右のプーリー（小）の上側からベルトを外していきます。

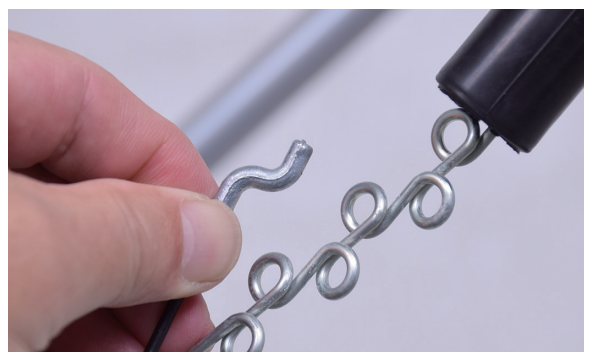


4 新しいベルトと交換します。ベルトの取付けは取外しと逆の手順で行い、最後にベルトカバーを取付けます。

除雪クラッチワイヤの交換

工具：インパクトレンチが必要になります。

1 除雪クラッチワイヤのフックを外します。



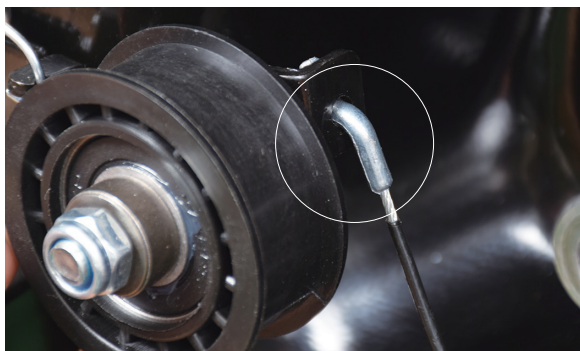
点検・整備の仕方

2 P.28 の要領でベルトカバー、ベルトを取外してから行います。

2カ所のボルト、ワッシャを10mmのスパナ又はレンチで取外します。



3 ワイヤ先端のフックを取外します。



4 17mmのインパクトレンチでボルトを取外し、プーリーを取外します。

※プーリーの内側にあるキーブロックは、紛失しないようご注意ください。



5 ワイヤ用プーリーの10mmのボルト、ナットを取外し、ワイヤを取外します。



点検・整備の仕方

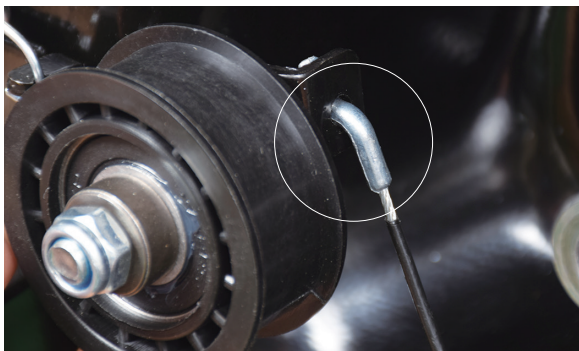
- 6** ワイヤを取外し、新しい除雪クラッチワイヤと交換します。



- 7** 下からボルトで取付けます。



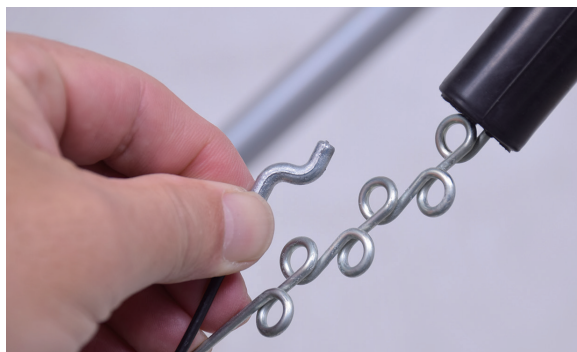
- 8** ワイヤ先端のフックを穴に挿込みます。



- 9** プーリーをインパクトレンチで取付けます。



- 10** 除雪クラッチワイヤのフックを取付けます。



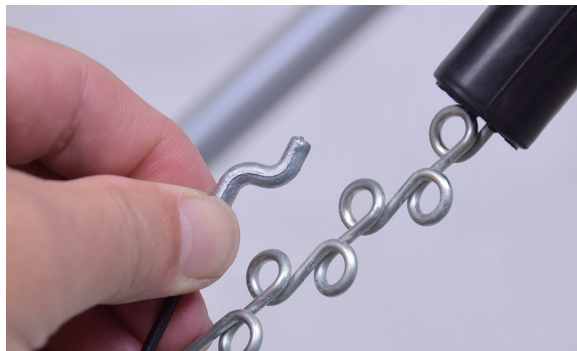
- 11** ベルト、ベルトカバーを取付けます。

除雪クラッチワイヤの調整

レバーを握っても回転しない

除雪クラッチワイヤが緩いので、ワイヤの張りを調整します。

- 1** 除雪クラッチワイヤの先端フックを取外します。



- 2** ワイヤ先端フックを取外した穴より一つ上の穴に通します。



点検・整備の仕方

レバーを放しても回転が止まらない

除雪クラッチワイヤが張りすぎなので、ワイヤの張りを調整します。

- 1 除雪クラッチワイヤ先端フックを取外します。



- 2 ワイヤ先端フックを、取外した穴より一つ下の穴に通します。



バッフル、ラバーズカートの点検・交換

バッフルやラバーズカートに摩耗、破損や変形がないか確認し、破損が激しい場合は交換をします。



■ バッフルの交換手順

- 1 バッフルを取付けている4カ所のボルトを4mmの六角レンチで固定しながら、10mmのスパナ又はレンチでナットを緩め取外します。



- 2 新しいバッフルに交換し、4カ所のボルト、ナットをしっかりと締付けます。

■ ラバーズカートの交換手順

- 1 ラバーズカートを取付けている左右2カ所のボルトを13mmのスパナ又はレンチで緩め、取外します。



- 2 ラバーズカートを取付けている4カ所の六角ボルトを4mmの六角レンチで固定しながら、10mmのスパナでナットを緩め取外します。



- 3 新しいラバーズカートに交換したら逆の手順で取付けます。

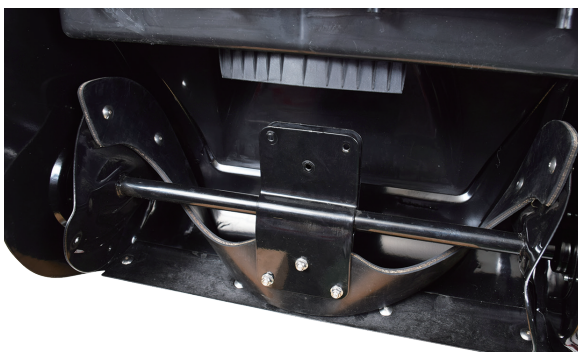
点検・整備の仕方

ラバーオーガの点検・交換

ラバーオーガ部分に摩耗、破損や変形がないか確認し、破損が激しい場合は、交換をします。

■交換手順

- 1 オーガスタンドに、2枚のラバーオーガがボルトで取付けられています。
ラバーオーガを取付けているボルトの頭を4mmの六角レンチで押さえながら、10mm ナットをスパナ又はレンチで取外します。
1枚のラバーオーガに7ヵ所あります。



- 2 新しいラバーオーガをオーガスタンドにはめ、ボルトを通し、六角レンチで回転を止めながら、ナットをしっかり締付けます。他の取付位置も同様にしっかり締付けます。
この時、オーガスタンドが広がっているため、ボルトが入りにくいので、クランプ等で締付けてから行くと、ボルトがスムーズに入ります。

タイヤの点検

タイヤの傷・摩耗を点検します。
車軸に破損や曲がりがないか確認します。

- 1 目視にて破損や亀裂がないか確認します。
破損・亀裂が見つかった場合は、修理又は新品と交換してください。



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。
ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。
不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部の異音の点検

始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



異常を感じたまま使用しないでください。重大な事故に繋がります。

点検・整備の仕方

グリス・潤滑油の塗布

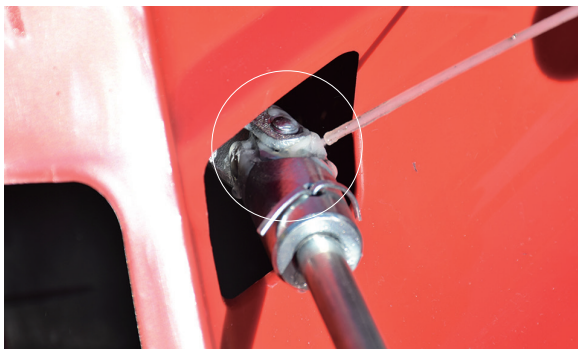
本機の使用後は回転部分・撻動部を清掃し、グリスや潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

- 1** シュータのギヤ部分に、スプレー式の潤滑剤を塗布します。



- 2** シュータのギヤシャフト部分に塗布します。



- 3** ロッカーアームガイド部分に塗布します。



- 4** 除雪クラッチワイヤ部分に塗布します。



- 5** シュータ可動部分とノブに塗布します。



- 6** 車軸に塗布します。



長期間使用しない時

除雪機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2** 保管する時は、オーガハウジングを接地させてください。
- 3** 燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
(P.26 参照)
- 4** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 5** 緊急停止キー（セーフティーキー）を抜いてください。
- 6** 各部の汚れを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 7** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 8** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 9** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

●エンジン関連

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.27 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.18 参照)
	燃料コックが閉じている	コックを開く
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホースの清掃、交換
	燃料タンクの錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
エンジンがかからない	エンジンオイルの入れすぎ	オイル交換 (P.25 参照)
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.25 参照)
	緊急停止キー (セーフティーキー) が奥まで入っていない	奥まで挿込む
白煙が出る	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.25 参照)
	エアフィルタの汚れ	交換、フィルタ清掃

●除雪作業関連

症状	原因	対処
シュータから雪が出ない	シュータに雪が詰まっている	詰まった雪を取除く
	雪質が重い	少しずつ除雪をする
雪を集められない	オーガに雪が付着している	付着した雪を取除く
オーガが回転しない	オーガベルトが切れている	ベルトの交換 (P.28 参照)
雪の飛びが悪い	エンジンの負荷が高い	手押し速度を下げる

消耗品一覧

商品名	商品コード	
オーガワイヤ	—	
ホイール(ノンパンクタイヤ)	—	
駆動ベルト	—	
バッフル(樹脂製)	—	
バッフル(金属製)	—	
ラバーオーガ	—	
跳ね防止ラバー (ラバースカート)	—	
取っ手付き固定ナット (ノブナット)	—	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
	<input type="checkbox"/> 郵便振替	ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181	
	<input type="checkbox"/> 代金引換	代引手数料 (1 万円未満：330 円、3 万円未満：440 円、10 万円未満：660 円)	

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を經由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない場合がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様の負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

^{*1} お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。

^{*2} 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。

^{*3} 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



24時間365日
無休受付

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日

無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



HAIGE

ハイガー産業 株式会社

〒370-0603

群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。
ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。

重要なお願い

お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を
必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW